

【資料1】 令和7年度 デジタル化推進本部等体制

デジタル化推進本部事務局
(総務部 情報戦略課)

【本資料概要】

- ◆P2～P4：デジタル化推進本部会議 （1）本部会議で議論するDX施策について
- ◆P5：デジタル化推進本部 （2）各役割について（設置要綱 第4条概略）
- ◆P6：デジタル化推進本部 （3）体制図について
- ◆P7：＜参考＞CDO補佐官の主な業務について
- ◆P8：＜参考＞CDO補佐官の担当業務と情報戦略課担当者について
- ◆参考資料：豊田市デジタル化推進本部設置要綱（案）

【本資料に対してご意見をいただきたい点】

◆デジタル化推進本部会議での議論について

- ・今後、本会議では第2次デジタル強靱化戦略の実現・推進に寄与する内容等を議論する予定です。会議における議論や役割などについて、ご意見ください。

◆設置要綱（案）の条文について(参考資料)

- ・設置要綱全体及び各条について、昨年度のデジタル本部会議及び推進チーム会議で頂いたご意見を反映し、更新しています。特に、第4条に関して本会議への関わり方など、記載内容についてご意見ください。

令和6年度までの議論について

- 第1次デジタル強靱化戦略を中心にしながらも、あらゆる範囲のDXについて議論・検討を展開していた。
- 結果として本会議にて、どの範囲までのDXについて議論するか、方向性を整理していくかが曖昧な面があった。

令和6年度までの議論範囲

豊田市全体のDX

- ↳建設業界のDX
- ↳中小企業のDX etc

豊田市役所のDX

- ↳バックオフィス改革
- ↳オンライン申請
- ↳市民ポータル etc

令和7年度からの議論について

- 第2次デジタル強靱化戦略の実現・推進に関する検討・議論を行う。
- 範囲外の領域である各部局の施策については、DX施策相談会や各課からの相談に基づき、デジタル化推進チームにて、全庁的な影響等を考慮して本部会議で議論を行うかについて整理する。

※議論範囲のイメージはP3・4のとおり

※第2次デジタル強靱化戦略：参考資料1・2を参照

豊田市全体のDX

- 例えば・・・
- ↳建設業界のDX
 - ↳中小企業のDX etc

令和7年度からの議論範囲

※P3・4参照

豊田市役所のDX

- ↳バックオフィス改革
- ↳オンライン申請
- ↳市民ポータル etc

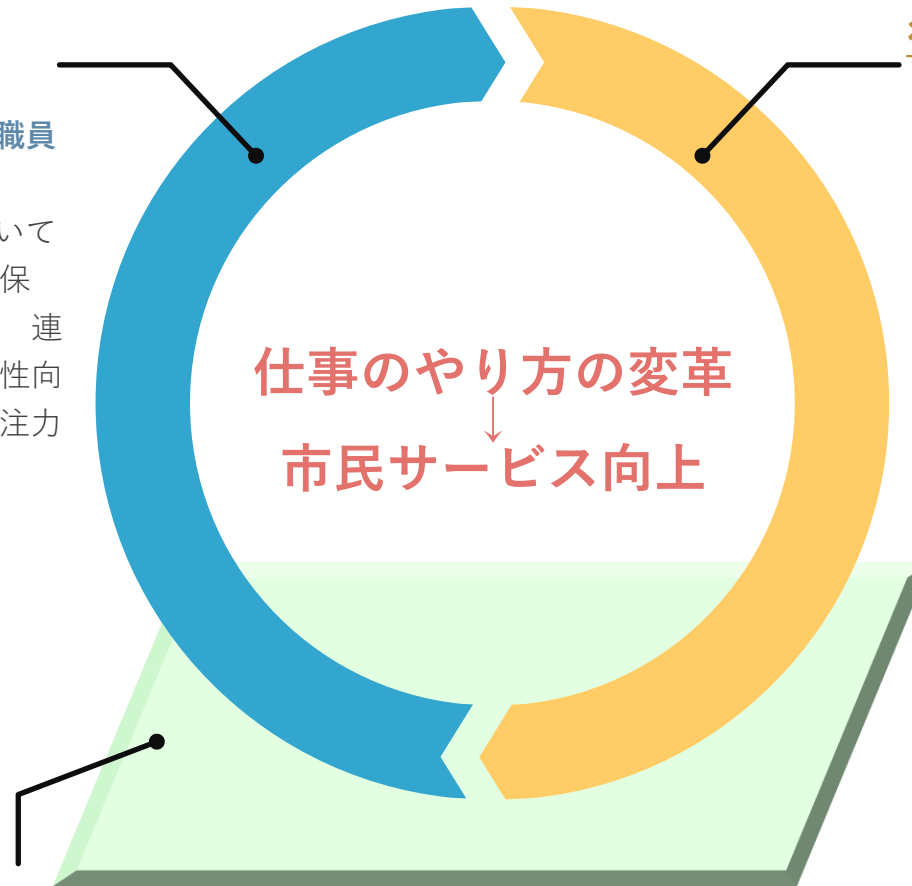
第1次デジタル強靱化戦略の評価できた点は継続的に取り組み、**第2次デジタル強靱化戦略は、「市民・職員目線のBPR」を基本(土台)とし、「生産性向上DX」・「行政サービスDX」に重点を置きながらDXを加速。**市民サービスの更なる質の向上のためにも、**職員の仕事のやり方はデジタル技術の活用を基本とし、限られた経営資源を効果的・効率的に活用できる環境とする。**

生産性向上DX

業務の効率性・確実性を高め、
今まで以上に市民サービス向上に注力できる職員
の仕事のやり方を実現
今後、デジタル技術の活用が行政 運営において
不可欠であるという 認識のもと、市役所が保
有・運用 するデータやシステムを利活用・ 連
携できる環境を基盤とし、業務 改革、生産性向
上を図り、今まで以上に市民サービス向上に注力
できる仕事のやり方への変革を実現

行政サービスDX

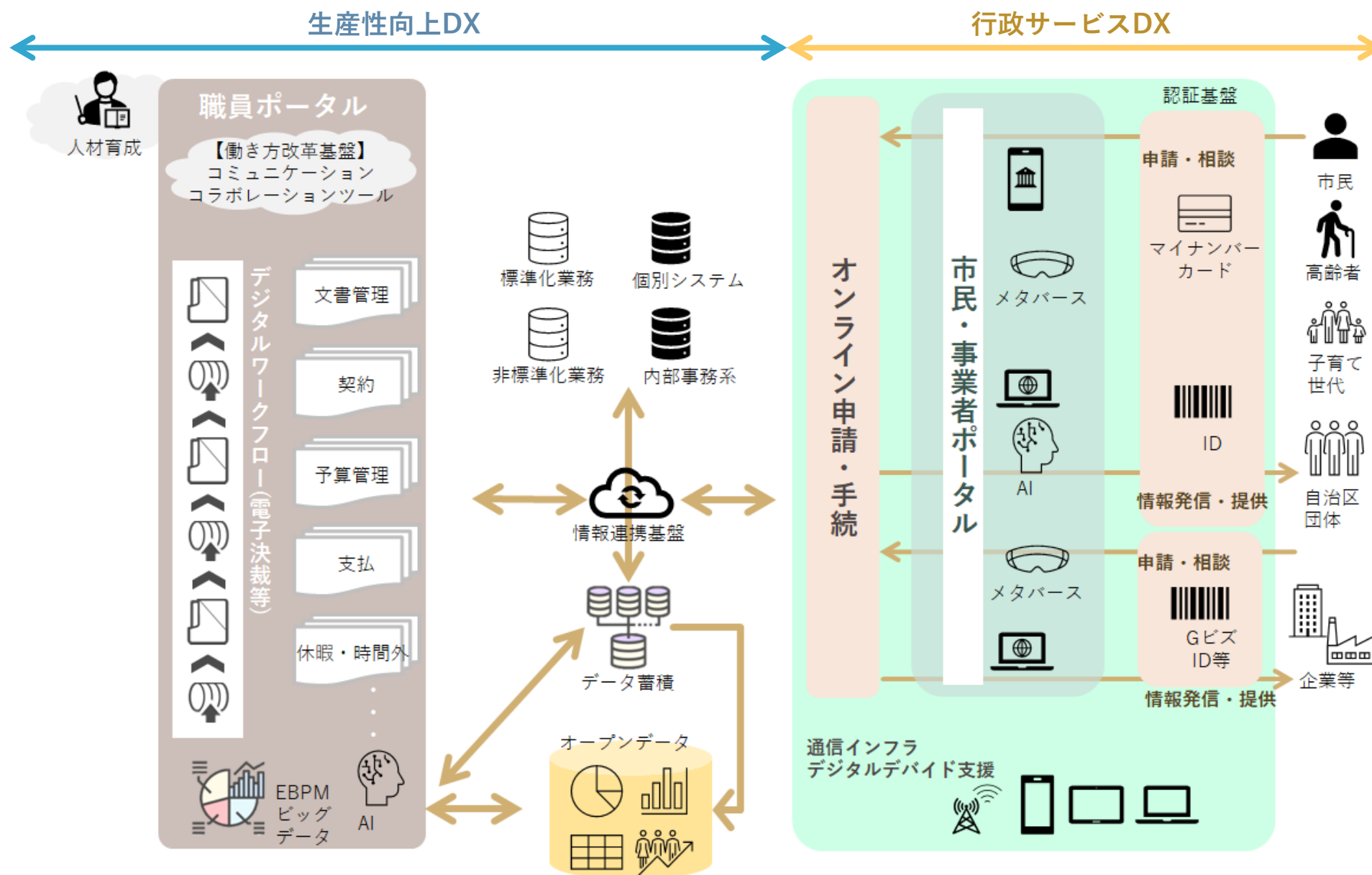
市民目線を軸に、
快適・便利な行政サービスを提供
市民目線で、多様な社会ニーズ、
価値観、行動を捉え、市民の期待に応えること
ができるよう、スピード感をもって、サービス
が届くまでの時間の短縮化、提供スタイルの
デジタル化、マルチチャネル化等を実現し、誰
もがデジタル化によって生まれた恩恵を享受で
きる環境を実現



市民・職員目線のBPR

「生産性向上DX」・「行政サービスDX」のいずれにおいても、市民・職員目線の両面から、
これまでのサービス提供の方法、仕事のやり方を見直すBPRの視点を常に意識することを基本的な考え方
として、それぞれのDXを実現

○デジタル化推進本部会議ではP2のとおり、第2次デジタル強靱化戦略に位置付けた下図の実現に向けた議論を行います。



1 デジタル化推進本部会議 (2)各役割について

役割	対象	責務
本部長	辻副市長	・ 推進本部の運営
副本部長	鈴木副市長 佐々木CDO	・ 本部長の補佐、本部長の職務の代理
デジタル化推進本部員	各部局から選出された 副部長級職員	・ 各部局内のDX推進をリード ・ 部局に捉われない市役所全体でのDX推進
デジタル化推進チーム	CDO CDO補佐官 企画政策部 企画課長、財政課長 総務部 人事課長、行政改革推進課長、 情報システム課長、情報戦略課長	・ 全庁におけるDX推進の方針整理や全体調整 ・ DXに関する新規施策の検討等 ↓ 協議すべき事項について推進本部に付議 ※軽微なものは推進チームでの検討をもって決定
【参考】 デジタル化責任者	各所属長	・ 所属内のDX推進をリード
【参考】 デジタル化推進員	各所属から選出された 担当長～主査級職員	・ 各部局・各所属のDX取組推進 ・ 各種ツールの所属内への普及
【参考】 事務局	総務部 情報戦略課	・ 全体統括 ・ 各種検討における素案整理 等

本部長：辻副市長 / 副本部長：鈴木副市長、佐々木CDO

デジタル化推進チーム

CDO(最高デジタル責任者) 総務部 佐々木CDO

CDO補佐官

大川CDO補佐官
(富士通Japan株式会社)

遅野井CDO補佐官
(コマニー株式会社)

橋口CDO補佐官
(LINEヤフー株式会社)

小出CDO補佐官
(合同会社情報政策リサーチ&コンサルティング)

住谷補佐官
(株式会社USEN WORK WELL)

鈴木CDO補佐官
(NTTコミュニケーションズ株式会社)

情報システム課長

情報戦略課長

企画政策部：企画課長、財政課長

総務部：行政改革推進課長、人事課課長、情報戦略課長（再掲）、情報システム課長（再掲）

【事務局】総務部 情報戦略課

※民間人材のCDO補佐官は、
守秘義務を本市と締結して
いるため本市の情報が補佐
官以外に伝わることはありません。

デジタル化推進本部員：副部室局長
(各部室局のDX統括責任者)

デジタル化責任者：所属長
(各課のDX推進責任者)

デジタル化推進員：担当長～主査級
(各課のDX推進担当者)

部会

<参考> CDO補佐官の主な業務について

	業務名	概要	参加者	頻度
①	情報戦略課・ 情報システム課 業務への支援	<ul style="list-style-type: none"> 各補佐官にご担当いただく業務について、課担当者と調整し、年度目標・将来目標達成に向けて協議を行う 	各担当者 個々の補佐官	随時
②	全庁に関わるDX推進の方策検討	<ul style="list-style-type: none"> 全庁DX推進に関わる制度・方針等を検討・実施に向けて調整する 	情報戦略課 補佐官	随時
③	定例会への参画	<ul style="list-style-type: none"> 主に①に関して進捗状況の報告、協議の実施 	情報戦略課 補佐官	2週間に1回程度 ※隔週火14時～15時
④	推進チーム会議への参画	<ul style="list-style-type: none"> 主に②に関して関係課との協議に参画 	チーム員 補佐官	
⑤	デジタル化推進本部への参画	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化推進本部での議論に参画 	本部員・チーム員 補佐官	2か月に1回程度
⑥	職員向け講演・研修等の実施	<ul style="list-style-type: none"> DX意識醸造のための講演・研修等を実施する。 ※実施ターゲットは職位等で分けて行う 	職員 個々の補佐官	※依頼時
⑦	各課個別案件への支援	<ul style="list-style-type: none"> 各課から情報戦略課に寄せられた相談事項について、技術的助言等をいただく 	各課職員 情報戦略課職員 個々の補佐官	※依頼時

CDO補佐官 (50音順)	派遣企業名	担当業務	担当者	担当長
大川CDO補佐官	富士通Japan株式会社	窓口改革	廣濱	山田
遅野井CDO補佐官	コマニー株式会社	DX人材育成 働き方改革 オフィス改革	藤本 廣濱	荒川
小出CDO補佐官	合同会社情報政策リサーチ & コンサルティング	標準化・内部事務	宮崎	山田
鈴木CDO補佐官	NTTコミュニケーションズ 株式会社	BPR・BPO	廣濱 杉山	山田
住谷CDO補佐官	株式会社 USEN WORK WELL	ICTガバナンス	藤本	荒川
橋口CDO補佐官	LINEヤフー株式会社	防災DX	安藤	荒川

※昨年度の部局担当制は廃止し、個々の所属からの相談は一旦情報戦略課を介してCDO補佐官に伝達